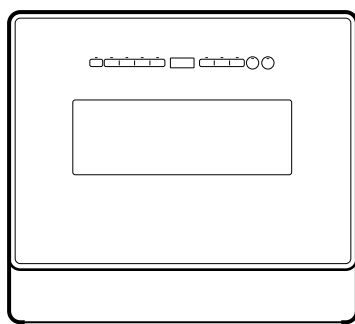


食器洗い乾燥機

SS-MH351



取扱説明書 **保証書つき**

このたびはシロカ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この製品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならないでください。
日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	5
食器を洗う前に	8
食器の洗いかた	10
UV 除菌専用コースの使いかた	19
お手入れのしかた	20
据え付け	25
仕上がり気が気になるとき	30
故障かなと思ったら	31
修理をご依頼いただく前に	33
仕様	34
部品・消耗品	34
保証とアフターサービス	35
保証書	36

最初に「据え付け」25 ページをお読みになり、正しく設置してください。


安全上のご注意


— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。


表示の説明

 **警告** 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

 **注意** 取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明

 禁止(してはいけない内容)を示します。

 強制(実行しなくてはならない内容)を示します。

警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

子どもや介護の必要な方だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの原因になります。操作できる人が必ず付き添ってください。



水ぬれ禁止

本体、電源コード、電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。



禁止

火気を近づけない
タバコや火のついたローソクなどを本体に近づけないでください。火災の原因になります。



禁止

運転中は、絶対に庫内や食器、メッシュトレイに触れない
やけどの原因になります。



アース接続

アースを必ず取り付ける
故障や漏電時、感電の原因になります。アース工事は、必ずお買い上げの販売店または電気工事店に依頼してください。(工事費は本体価格に含まれません。)



ガスコンロなどの熱源から15cm以上離す
火災の原因になります。



本体のお手入れは運転終了後、30分以上経過してから行う
やけどの原因になります。



禁止

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない
火災・感電・やけどの原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く
製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- 本体が作動しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

運転中は本体に衝撃を与えない
感電・漏電・ショートによる火災の原因になります。

 **警告**

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る

ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

電源プラグをなめさせない

感電・けがの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

延長コードやテーブルタップは絶対に使わない

コンセントや電源プラグ・電源コードが異常発熱し、発火の原因になります。



禁止

電源コードを束ねて使わない

熱の逃げ場がなくなって高温になり、ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、束ねる など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れするときや長期間使わないときは電源プラグをコンセントから抜く

外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



水ぬれ禁止

電源コード・電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。

 **警告**

UVライトについて



禁止

点灯中のUVライトは、絶対に肉眼で見ない

目の痛みや視力障害の原因となります。



禁止

紫外線を皮膚にあてない

皮膚の炎症を起こす原因となります。

⚠ 注意

本製品の取り扱いについて



禁止

本製品を絶対に業務用に使わない
本製品は一般家庭用です。業務用にお使いになると無理な負担がかかり、火災・故障の原因になります。



禁止

操作部に磁気のあるものを近づけない
誤作動の原因になります。



禁止

排気口から出る湯気や排水ホースからの排水に触れない
やけどの原因になります。



洗浄中にドアを開けるときは、《スタート／一時停止》ボタンを押して運転が停止したことを確認する
また、高温の庫内・メッシュトレイ・湯気・食器などに充分注意して開けるやけどの原因になります。



禁止

本体を動かしたり傾けたりしない
水漏れの原因になります。



禁止

ドアを開けるとき、ドアの上にものを載せない
落下して、けが・故障の原因になります。



禁止

本体の上に乗ったり物を置いたりしない
落下、破損によるけがの原因になります。



禁止

開いたドアや本体を強く押さない
転倒・落下によるけがの原因になります。



禁止

食器がはみ出た状態でドアを閉めない
ドアが変形し、熱湯や水が飛び出し、やけどの原因になります。



ドアを開閉するときは、指を挟まないように注意する
けがの原因になります。



運転終了後は分岐水栓を閉める
水漏れの原因になります。

使用上の注意事項



食器洗い機専用洗剤を使用する
台所用洗剤などを使用すると泡が大量に発生し、水漏れや故障の原因になります。



禁止

台所用洗剤や重曹を使用しない
台所用洗剤が付いた食器は洗い流してから入れてください。また、重曹を使うと故障の原因になります。



禁止

お湯を使用しない
お湯を給水すると故障の原因になります。また本製品は給湯機に接続できません。



ナイフや先の尖ったものは、尖っている方を下向きに入れるか、横に寝かせて入れる
けがの原因になります。



付属品は必ず専用のものを使う
異なる製品の付属品を使用すると、付属品の破損、本製品の故障の原因になります。



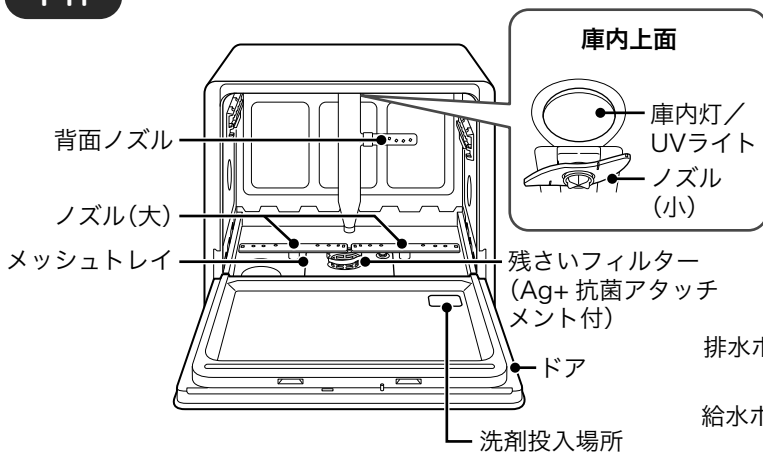
テレビやラジオなどの電気製品は、食器洗い機の近くで使わない
画像の乱れや雑音の原因になります。



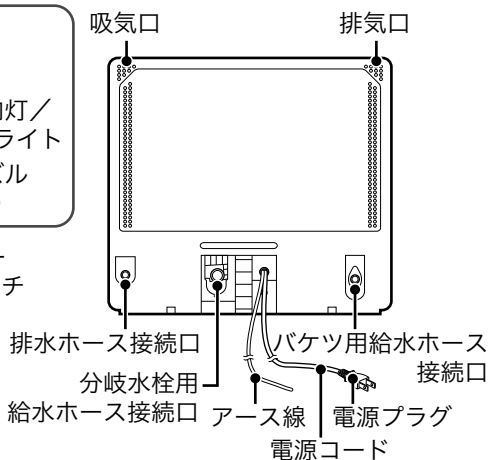
使用していないときはドアを閉める
設置場所によっては、手が当たったり、つまづく原因になります。

各部のなまえ

本体



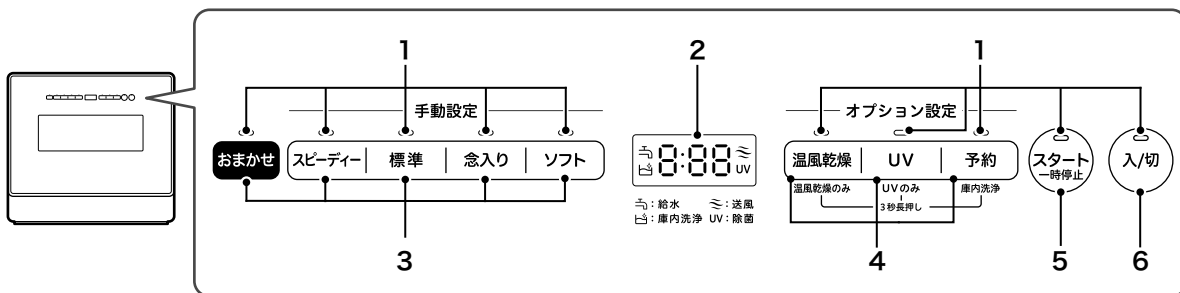
背面



ご注意

- 排気口、吸気口をふさがないでください。
- 排気口から出る蒸気に触れないでください。やけどの原因になります。

操作部



名称	使用用途
1 ランプ	選んでいる項目(洗浄コース、オプション)のランプが点灯します。
2 ディスプレイ	運転時間、予約運転時間のほか、給水、庫内洗浄、送風、UVの各アイコンが表示されます。
3 コースボタン	➡「食器洗浄コースについて」 15ページ
4 オプション設定ボタン	《温風乾燥》ボタン：各コースの洗浄後、温風乾燥を行いたいときに押します。温風乾燥のみ行うときは長押し(約3秒)します。 18ページ 《UV》ボタン：各コースの送風または温風乾燥中、UVライト照射面のみ除菌します。UV除菌専用コースは長押し(約3秒)します。➡「UV除菌専用コースの使いかた」 19ページ 《予約》ボタン：予約運転を設定するときに押します。庫内洗浄を行うときは長押し(約3秒)します。 24ページ
5 《スタート / 一時停止》ボタン	運転を開始する、一時停止するときに押します。一時停止中はランプが点滅します。
6 《入 / 切》(電源)ボタン	本体の電源を入れる、切るときに押します。誤動作防止のため、ボタンを素早く押ししても反応しないようにしています。

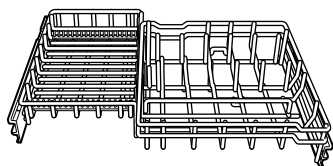
| 各部のなまえ

付属品

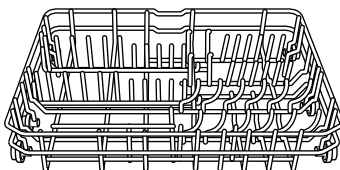
⚠ 注意

庫内の洗浄かごに入っている梱包材や乾燥剤を使用前に必ず取り出してください。

▶ 上かご

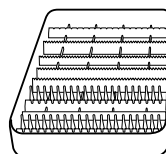


▶ 下かご

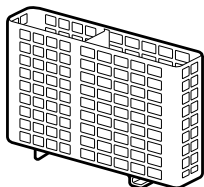


▶ 小物トレイ

上かごの左側に載せて使用します。



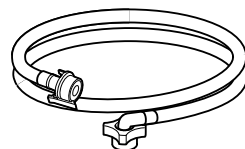
▶ 小物入れ



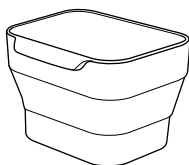
▶ UV除菌コース専用トレイ



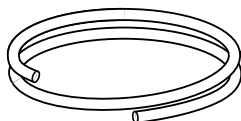
▶ 分岐水栓用給水ホース(1.5 m)



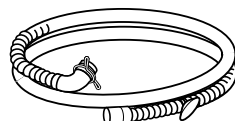
▶ 給水専用バケツ



▶ バケツ用給水ホース(2 m)



▶ 排水ホース(クリップ、吸盤付き)(2 m)



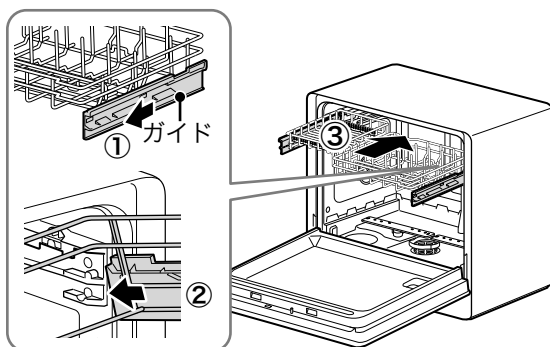
▶ 上かごの取り外しかた・取り付けかた

取り外しかた

上かごを引き出し、斜め(手前を高く、奥を低く)にしてレールから外す。

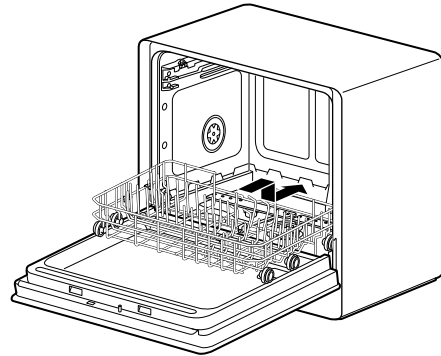
取り付けかた

- ①ガイドを手前に引っ張ります。
 - ②ガイドを押さえたまま、上かごを斜め(手前を高く、奥を低く)にしてレールにはめ込みます。
 - ③上かごを水平にして奥までスライドさせてください。
- ご使用の前にきちんと上かごが庫内に取り付けられているか確認してください。



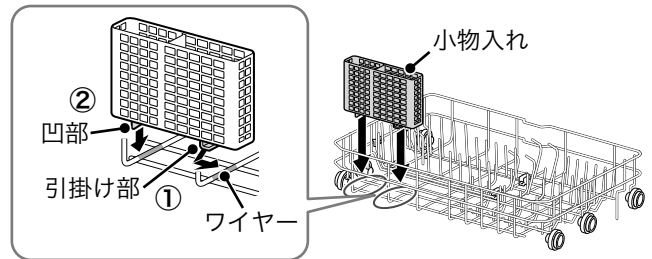
▶ 下かごの取り付けかた

- 下かごを車輪のレールにのせてスライドさせて取り付けます。
ご使用前にきちんと下かごが庫内に取り付けられているか確認してください。



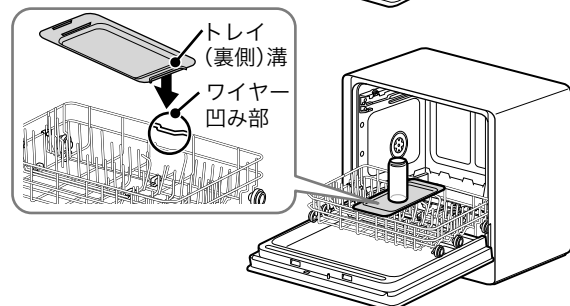
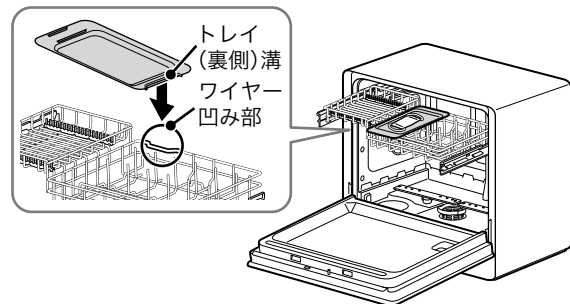
▶ 小物入れの取り付けかた

- 小物入れの引掛け部を下かごのワイヤーに引掛けたあと、凹部をワイヤーにはめ込んで取り付けます。
ご使用前にきちんと小物入れが下かごに取り付けられているか確認してください。



▶ UV除菌コース専用トレイの取り付けかた

- 上かご、下かごのワイヤー凹み部にトレイ(裏側)溝を合わせて置き、トレイの上に除菌するものを置きます。



食器を洗う前に

洗えないもの

⚠ 注意

▶ 強化ガラス製のもの

強化ガラス製の食器などは、洗浄中に粉々になって破片が飛び散り、けがの原因になります。

▶ 飛ばされやすい軽いもの

プラスチックのスプーンやふた、発泡スチロール容器、ふきん、スポンジ、ほ乳瓶の吸い口などの軽いものは、水圧で飛ばされて変形や破損の原因になります。

▶ 熱に弱いもの

- 耐熱90°C未満、および耐熱表示のないプラスチック食器
(耐熱65°C以上のプラスチック食器は、ソフトコースで洗えます)

▶ 割れやすいもの

- 傷のついたガラス食器
- ひびの入った食器
- 木製の柄の付いたなべ、包丁

▶ 変色しやすいもの

- 銀製、洋銀製食器など
- アルミ製、銅製のなべや食器
- 木(竹、とう)製食器
- 漆塗り食器、重箱、金箔入りの食器、上絵付けの食器
- クリスタルグラス

▶ その他

- 鉄製のフライパンなど錆びるおそれがあるもの
- フッ素加工のフライパンなどで表面に傷があるもの
- びんやとっくり
- 食器洗い機専用洗剤に洗えないものとして記載があるもの

ご注意

- 上記に記載のない食器については、販売店や製造メーカーにお問い合わせください。

洗う前の準備

1

食べ残しや故障の原因になるものを取り除く

- 輪ゴムやつまようじ、魚の骨などの固いもの
- 再付着するようなゴマなどの細かい残さい
- においが取れにくい魚の皮など
- 油のかたまりなどのひどい汚れ

2

きれいに落ちないものをスポンジ等でこすり落とす

- なべの焦げ付き
- 食器の焦げ付き、こびり付き
- はしのこびり付き

ご注意

- プラスチック食器に付いた食品の色や定着した茶渋などの汚れは落ちないことがあります。

洗剤の入れかた

ご注意

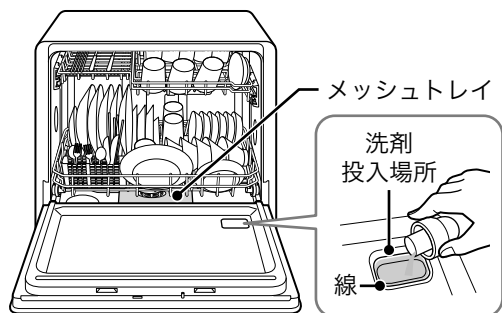
- **食器洗い機専用洗剤(食洗機用洗剤)をご使用ください。**
ご使用前に食器洗い機専用洗剤に記載された、安全上と使用上の注意もご確認ください。
- **台所用洗剤や重曹を使用しないでください。**
泡が立ちすぎるため、少量でも付着していると故障の原因になります。

洗剤は、右図の洗剤投入場所に入れてください(水位線まで)。

タブレット洗剤はメッシュトレイの上に置いてください。

洗剤の標準量

- 粉末または液体洗剤の場合：約7g
- タブレット洗剤の場合：1個
(タブレット洗剤の説明書をご確認ください)



食器の洗いかた

食器を入れる

- ノズルの噴射水が当たるように、食器の汚れた面を矢印の方向に向けて入れてください。
- コップや湯呑みは下向きに入れてください。
- スプーンやフォークは小物入れに上向きに入れて入れるか、小物トレイに立てて置いてください。
- 図のように食器を入れると、標準食器*が36点入ります。

大皿…5点 中皿…5点 小皿…10点
茶わん…5点 汁わん…5点 コップ…6点
小物類(はし、スプーン等)

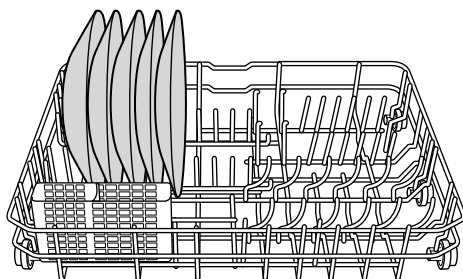
* 標準食器とは、日本電機工業会自主基準「電気食器洗い機用食器に関する自主基準」(2009年9月17日改正)に基づいた食器のことです。

イラストは一例です。形状などにより、セットできない場合があります。

下かご

大皿

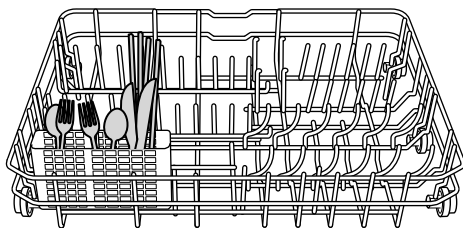
(直径23cm以下)



上かごを外すと直径27 cmまで入ります。

おはし・スプーンなど

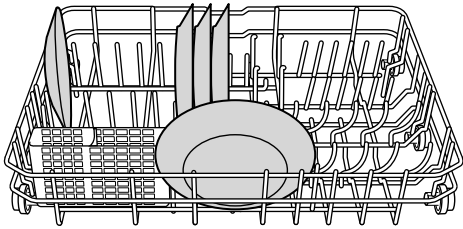
(長さ22cm以下)



小物入れの底からはみ出さないように注意して入れてください。

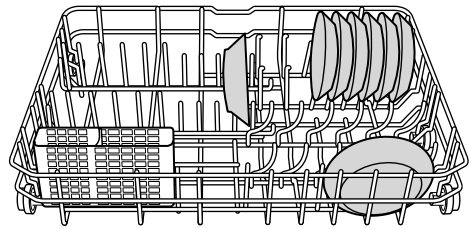
中皿

(直径17cm以下)

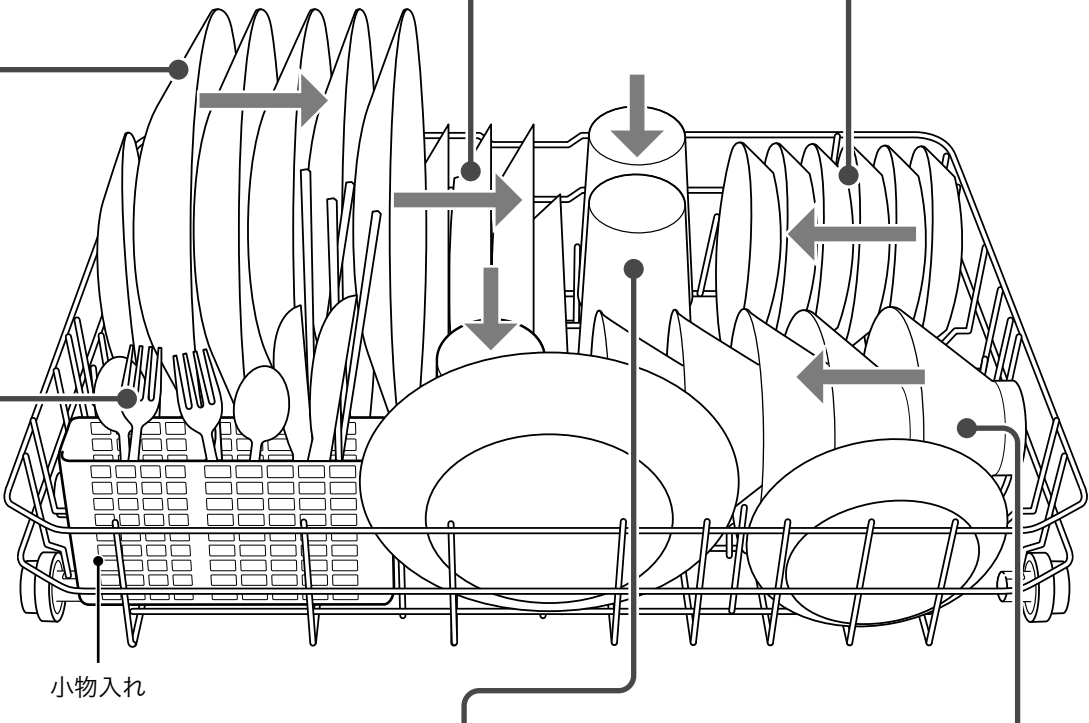


小皿

(直径12cm以下)



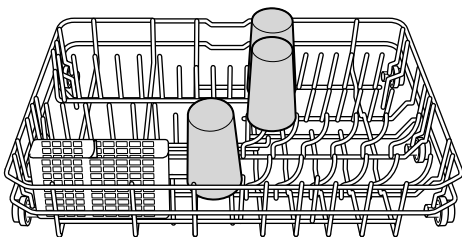
上かごにも入れることができます。



小物入れ

コップなど

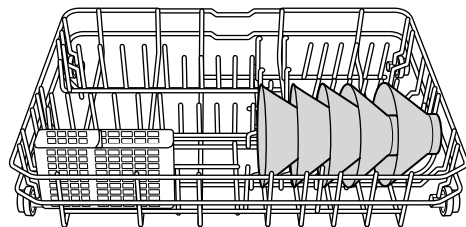
(直径6cm以下、高さ11cm以下)



上かごにも入れることができます。

茶碗

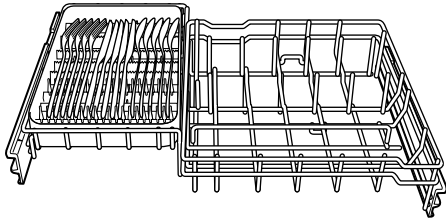
(直径12cm以下)



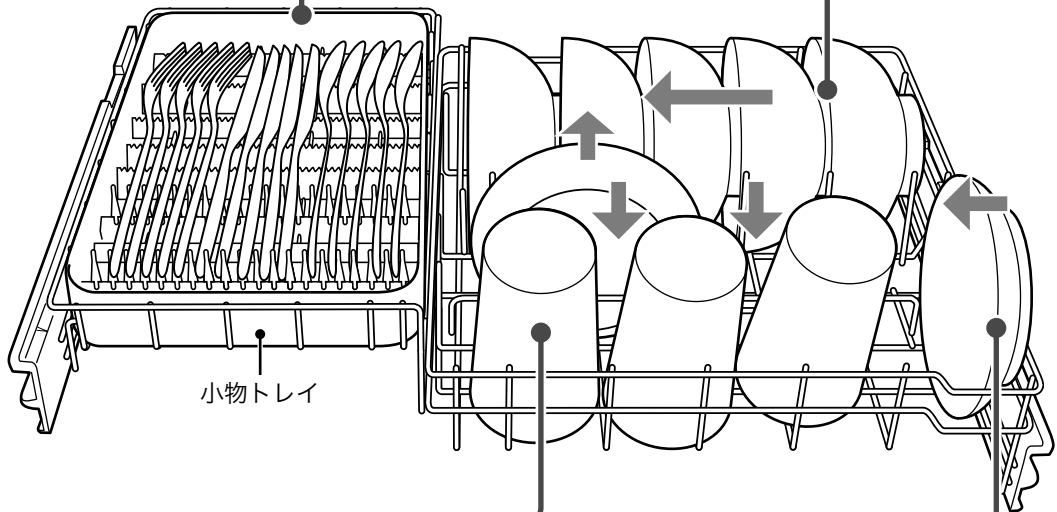
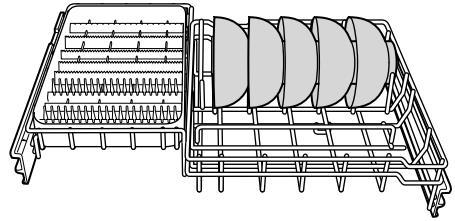
食器の洗いかた

上かご

スプーン・フォークなど
(長さ22cm以下)

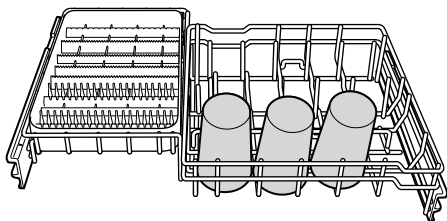


汁椀
(直径12cm以下)

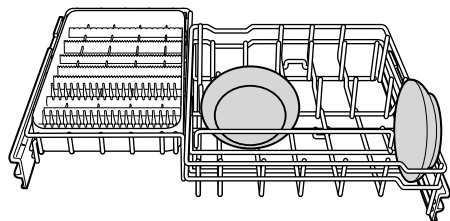


小物トレイ

コップなど
(直径6cm以下、高さ11cm以下)



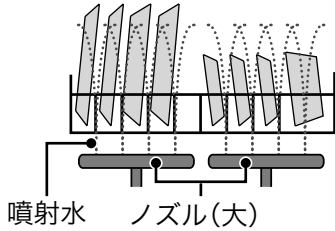
小皿
(直径12cm以下)



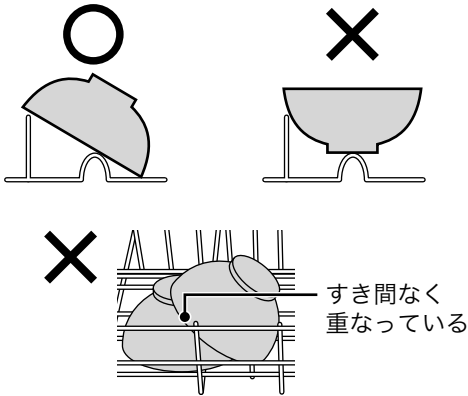
▶ 食器の並べかたのご注意

- 食器は汚れた面を下に向け、ノズルの噴射水が届きやすい角度で置いてください。

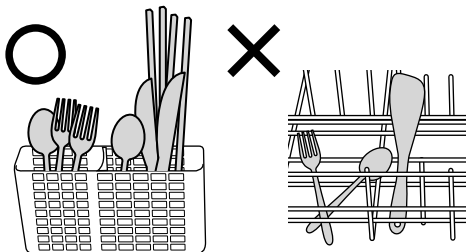
横から見た図



- 食器がすき間なく重なっていると、噴射水が届かないため洗浄できません。きちんと噴射水が当たるようにすき間を空けてください。

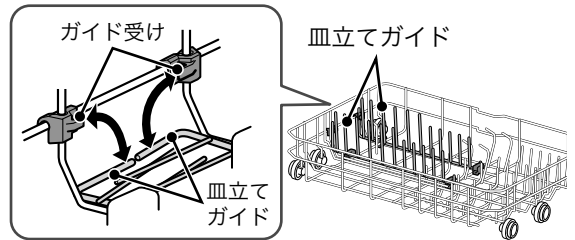


- 食器は倒れたり、落下したりしないように置いてください。
スプーンや木べらなどの細かいもの、小さいものは、小物入れに入れてください。
洗浄かごから食器などが落下するとノズルの回転が止まってしまう、洗浄できません。



▶ 皿立てガイドについて

- 大きな食器を入れる際は、皿立てガイドを倒すことができます。
- 下かごに付いているガイド受けから皿立てガイドを外し、皿立てガイドを倒します。
皿立てガイドを立てるときは、皿立てガイドの引っ掛け部をガイド受けにはめ込みます。



給水の準備をする

本製品は、説明に従って正しく設置してください。

→「据え付け」 25ページ

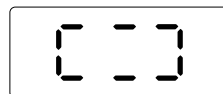
分岐水栓から給水する方法と、バケツから給水する方法があります。

給水の準備をした後、《スタート／一時停止》ボタンを押すと、給水が始まります。

1

入/切 (電源) ボタンを押して電源を入れる

電源が入り、選択中のコースの運転時間が表示されます。
お買い上げ時はおまかせコースとなり、右図の表示になります。



2

給水の準備をする

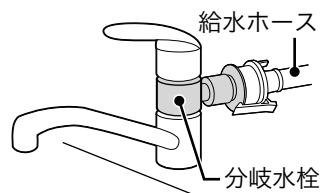
▶ 分岐水栓から給水する場合

分岐水栓を開けてください。

分岐水栓の使いかたは、分岐水栓に付属している取扱説明書等をご覧ください。

- 分岐水栓の接続のしかた

→「給排水の接続」 27ページ



▶ バケツで給水する場合

1

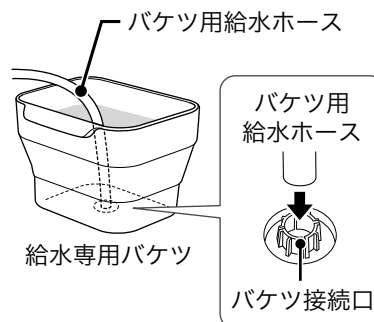
バケツに約10リットルの水を入れる

給水専用バケツを使用してください。

2

バケツ用給水ホースの先端を給水専用バケツに固定する

底面のバケツ接続口にバケツ用給水ホースを差し込んで固定してください。



ご注意

- 水道水を使用してください。お湯や水道水以外の液体は使わないでください。故障の原因になります。
- バケツ用給水ホースのフィルターに異物がつまっていると給水できません。フィルターの状態を定期的に確認し、異物がある場合は取り除いてください。

食器洗淨コースについて

使用用途や食器の種類、汚れ具合などによって5つの食器洗淨コースからお選びいただけます。各コースとも「洗淨」「すすぎ」「送風」を行います。UVモードを設定している場合は、送風時に5分間UVライトを照射します。温風乾燥モードを設定している場合は「送風」が「送風+温風乾燥」になり、コース終了後に温風乾燥(1時間)を行います。

コース	こんなとき	洗淨・すすぎ・送風*時間の目安(約)	
		温風乾燥なし	温風乾燥あり
おまかせ	省エネ・短時・節水したいとき おまかせセンサー(にごり度センサー)が食器の汚れを検知し、自動で汚れ具合に合わせて洗淨します。	1時間～2時間	1時間～2時間 +温風乾燥(1時間)
標準	食後すぐに洗うときや通常のご使用時	1時間39分	1時間24分 +温風乾燥(1時間)
念入り	食後から時間が経過したものや、調理器具などを洗うとき	2時間	1時間45分 +温風乾燥(1時間)
スピーディー	軽い汚れのもの、つけおきや水洗い後のものを洗うとき 他のコースと比べて運転時間が短いため、水滴が残ったり油汚れのあるものは汚れが完全に落ち切らなったりする場合があります。	45分*	45分* +温風乾燥(1時間)
ソフト	プラスチック製の食器を洗うとき、耐熱温度65℃～90℃未滿のものを洗うとき プラスチック製の食器は、料理の色素で色がついてしまう場合がありますので食後すぐに洗ってください。	1時間35分	設定できません

* 温風乾燥モード設定時は送風が送風+温風乾燥になります。スピーディーコースは送風を行いません。

おしらせ

- 洗淨コースの実際の運転時間は、給水される水の温度などによって変わります。
- すすぎの最後は加熱すすぎになります。
(標準：約 75℃、念入り：約 75℃、スピーディー：約 50℃、ソフト：約 60℃)

ご注意

- UVライトの点灯を直接見ないようにしてください。目の痛みや視力障害の原因になります。

▶ オプションモード

モード	動作
温風乾燥	洗淨コースの「送風」が「送風+温風乾燥」になり、コース終了後に温風乾燥(1時間)を行い、温風で食器を乾かします。 ● ソフトコースは温風乾燥を選択できません。
UV	UVライト照射面のみ除菌します。洗淨コースの「送風」または「送風+温風乾燥中」に5分間照射します。 ● スピーディーコースはUVを選択できません。
予約	時間を設定し、設定した時間後に自動で運転を開始します。 予約時間を1時間～6時間まで1時間単位で設定できます。

食器を洗う／乾燥させる

1

ドアを開けて洗浄かごに食器をセットする

ドアを開けると、ディスプレイに「dr」が表示されます。

▶ 「食器を入れる」 [10 ページ](#)

2

食器洗い機専用洗剤を入れ、ドアを閉める

タブレット洗剤はメッシュトレイの上に置いてください。

洗剤の標準量

- 粉末または液体洗剤の場合：約7g
- タブレット洗剤の場合：1個(タブレット洗剤の説明書をご確認ください)

ご注意

- ドアと本体のすきまに指を入れしないでください。ドアの開閉時に指がはさまれ、けがの原因になります。

3

洗浄コースを選ぶ

選んだ洗浄コースのランプが点灯し、運転時間が表示されます。
(おまかせコースは洗浄開始後に残り時間が表示されます。)

▶ 「食器洗浄コースについて」 [15 ページ](#)

▶ 温風乾燥する場合

温風乾燥 ボタンを押す

《温風乾燥》ランプが点灯します。

洗浄コースの「送風」が「送風+温風乾燥」になり、コースの運転終了後、1時間の温風乾燥が始まります。ソフトコースは設定することができません。



温風乾燥

▶ UV除菌する場合

UV ボタンを押す

《UV》ランプが点灯します。

洗浄コースの「送風」または「送風+温風乾燥」中にUVライト照射面のみ除菌します。スピーディーコースは設定できません。



UV

ご注意

- UVライトの点灯を直接見ないようにしてください。目の痛みや視力障害の原因になります。

▶ 予約を設定する場合

予約 ボタンを押す

《予約》ランプが点灯し、予約時間が表示されます。予約時間を1時間～6時間まで1時間単位で設定できます。《予約》ボタンを押すたびに予約時間が次のように切り替わります。

1時間(H:01)→2時間(H:02) …→6時間(H:06)→切(H:00)




予約



4:02

4

(スタート/一時停止) ボタンを押して、洗浄を開始する

給水後、洗浄が始まります。給水中は給水アイコン()が点灯します。

表示中の運転時間が減っていき、残り時間を確認できます。(おまかせコースの場合は洗浄開始後に残り時間が表示されます。)

バケツ給水の場合、最初の給水に約2～3分かかります。洗浄やすすぎの工程に合わせて給水を行うため、バケツの水は一度に給水されません。

洗浄が終わるとブザーが鳴ります。温風乾燥モード設定時は《温風乾燥》ランプが点灯し、温風乾燥(1時間)が始まります。(ソフトコースは除く)

- 予約を設定した場合は、設定した時間後に洗浄が始まります。
- UV照射中はUVアイコンが表示されます。

運転中に停電などにより電源が切れた場合、電力復帰後中断したところから運転を再開します。



▶ 一時停止する





運転中に (スタート/一時停止) ボタンを押す

一時停止中に再び《スタート/一時停止》ボタンを押すと、運転を再開します。


- 運転中にドアを開けると庫内から水滴が落ちる場合があります。
- 一時停止してから約30分経過すると、自動的に電源をオフにします。

▶ 運転開始後に洗浄コースを変更する

運転中の洗浄コースを取り消して、他の洗浄コースに変更することができます。

-  (スタート/一時停止) ボタンを押す
運転を一時停止します。
-  洗浄コースボタンのいずれかを1秒間長押しする
運転中の洗浄コースが取り消されます。
-  洗浄コースを選び、 (スタート/一時停止) ボタンを押す
選びなおした洗浄コースで運転を最初から開始します。

▶ 給水アイコンが点滅したら

水が不足すると、給水アイコン()が点滅します。

分岐水栓の場合は分岐水栓を開けてください。バケツから給水する場合は、バケツに水があるか、ホースから給水できる状態になっているか確認してください。

給水の準備ができたなら、《スタート/一時停止》ボタンを押して運転を再開してください。

5

運転終了後、食器を取り出す

ディスプレイに「End」が表示されます。
洗浄かごをゆっくり引き出し、手前から食器を1つずつ取り出してください。

- 運転終了後約30分経過すると、自動的に電源をオフにします。

ご注意

- **バケツ給水の場合、運転終了後、バケツに水が残ることがあります。**
洗浄コースにより水量が異なり、水が足りずに途中で運転が停止しないよう多めの水を入れるためで、故障ではありません。

おしらせ

- **食器が乾いていてもドアや庫内などに水滴が残りますが、故障ではありません。**
水滴が気になる場合は、ふきんなどで拭き取ってください。

温風で乾燥させる

食器の洗浄は行わず、温風で食器を乾燥させます。

1

温風乾燥ボタンを長押し(約3秒)して温風乾燥のみコースを選ぶ
《温風乾燥》ランプが点灯し、運転時間が点滅します。運転時間は4時間です。

温風乾燥

3秒長押し

2

スタート/一時停止ボタンを押して温風乾燥を開始する

表示中の運転時間が減っていき、残り時間を確認できます。
乾燥が終わると、ブザーが鳴り運転が終了します。

予約を設定した場合は、設定した時間後に温風乾燥が始まります。

おしらせ

- **温風乾燥開始時、排水を行う音がしますが異常ではありません。**

チャイルドロックを設定する

子どもが誤ってボタンを押してしまっても動作させないように、操作部のボタンをロックします。

▶ チャイルドロックを設定/解除する

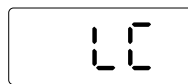
本体の《おまかせ》ボタンと《予約》ボタンを同時に長押し(約3秒)します。
解除するときは、再度《おまかせ》ボタンと《予約》ボタンを同時に長押し(約3秒)します。

おまかせ + 予約

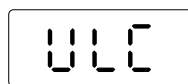
3秒長押し

- チャイルドロック中にボタンを押すと、ディスプレイに「LC」と表示されます。
- 電源プラグを抜くと、チャイルドロックは解除されます。

チャイルド
ロック
「設定」



チャイルド
ロック
「解除」



UV 除菌専用コースの使いかた

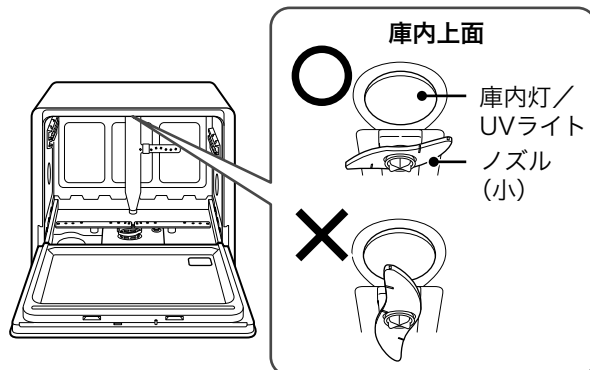
UVライト照射面のみ除菌できます。対象物全体を除菌する場合は、角度を変えたり裏返したりして全体を照射してください。

➔「UV除菌コース専用トレイの取り付けかた」

7ページ

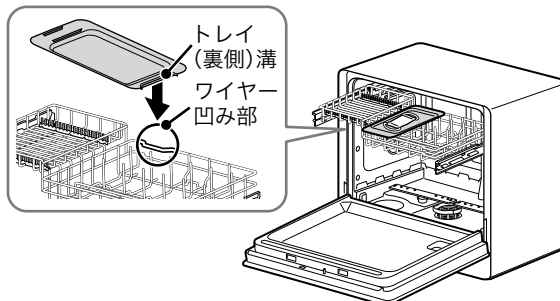
ご注意

- 庫内上面のUVライトにノズル(小)がかかると影になり、除菌効果が落ちるため、最初にノズルの位置を横に向けてください。



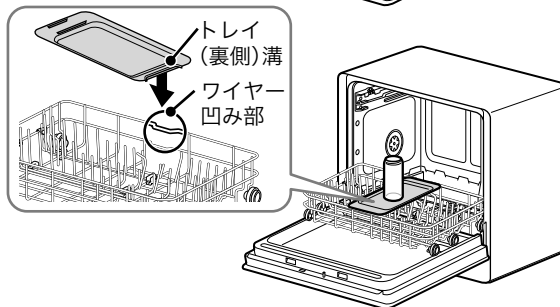
高さが4cm以下の場合(例: 携帯ケース、マスク)は、上かごのUVライトの真下に除菌モード専用トレイを載せ、除菌するものを置きます。

UV除菌専用コースは10分(0:10)を選んでください。



高さが4cm～16cmの場合(例: ほ乳瓶、タンブラー)は、下かごのUVライトの真下に除菌モード専用トレイを載せ、除菌するものを置きます。

UV除菌専用コースは90分(1:30)を選んでください。



1

UV ボタンを長押し(約3秒)してUV除菌専用コースを選ぶ

運転時間が点滅します。運転時間は10分または90分を設定できます。《UV》ボタンを長押しするたびに運転時間が次のように切り替わります。

10分(0:10)→90分(1:30)→10分(0:10) …

2

スタート/一時停止 (スタート/一時停止) ボタンを押してUV除菌を開始する

表示中の運転時間が減っていき、残り時間を確認できます。

除菌が終わると、ブザーが鳴り運転が終了します。

予約を設定した場合は、設定した時間後にUV除菌が始まります。

ご注意

- 除菌の対象物や庫内の上部に水滴がついている場合は、ふき取ってからご使用ください。UV除菌の効果が弱くなる場合があります。
- 変色しやすい物には使用しないでください。紫外線により退色したり劣化したりする原因となります。

お手入れのしかた

ご注意

- お手入れは、電源を切って必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- お手入れは運転終了後、庫内が常温になっていることを確認してから行ってください。高温部に触れると、やけど・けがの原因になります。
- 本体に水やお湯をかけたり、庫内に入れたりしないでください。水漏れや内部に水が入るなどして、故障の原因になります。また、これらによって修理が必要となった場合、保証期間内でも保証の対象外となりますのでご注意ください。
- お手入れ後に給水・排水ホースの接続が緩んでいる場合は、しっかり締め付けてください。

残さいフィルターとメッシュトレイ

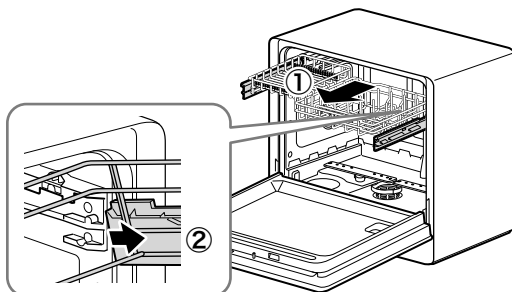
残さいフィルターは食器から取り除いた残さいが溜まりますので、メッシュトレイとあわせて毎回お手入れしてください。

残さいフィルターが詰まると洗浄効果が落ち、におい移りなどの原因になります。

1 洗浄かごを取り出す

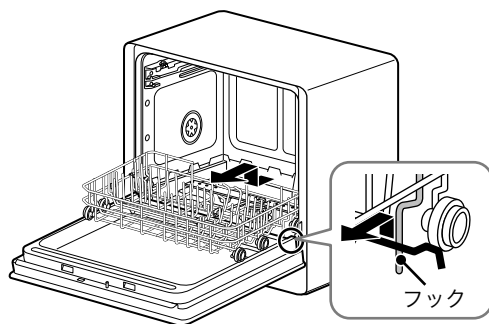
▶ 上かごを取り出す

前に引き出してから前側を少し上に持ち上げ、上かごを取り出します。



▶ 下かごを取り出す

前に引き出してから少し上に持ち上げ、フックをドアの縁から外しながら取り出します。



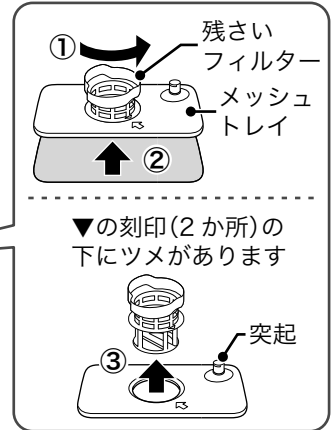
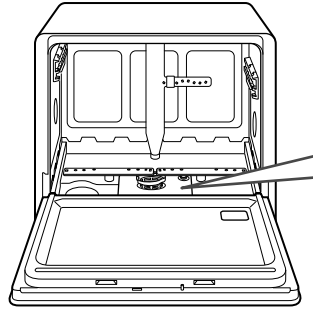
2

残さいフィルターとメッシュトレイを取り外す

残さいフィルターを反時計回りに回して上に引き上げると、残さいフィルターがメッシュトレイごと外れます。

その後、残さいフィルターのツメ(2か所)を外してメッシュトレイから外します。

- メッシュトレイの突起部分は取り外せません。



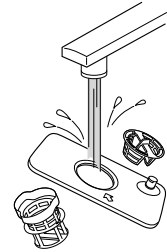
ご注意

- ご購入時は残さいフィルターが外しにくいことがあります。残さいフィルターのツメを確認しながら外してください。
- 残さいフィルターの下に水が溜まっていることがあります。故障ではありません。

3

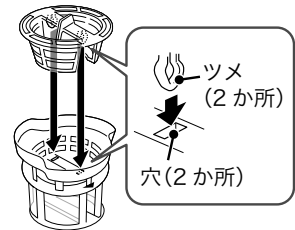
残さいフィルターの上部をまっすぐ引き抜いて外し、残さいフィルター内の残さいを捨て、残さいフィルターとメッシュトレイを流水で洗う

洗ったあとは水気をふき取り、乾かしてください。



4

残さいフィルターの上部を下部に差し込み、まっすぐ押し込んで取り付ける

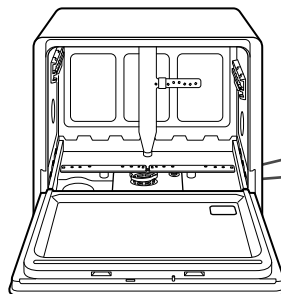


5

メッシュトレイと残さいフィルターを組み立て、本体に取り付ける

残さいフィルターをメッシュトレイにまっすぐ差し込んで組み立てます。次に、残さいフィルターの▽の刻印の位置に注意しながら庫内の元の位置にセットし、残さいフィルターを時計回りに回して↑の位置に合わせます。

- メッシュトレイと残さいフィルターがしっかり取り付けられていることを確認してください。



お手入れのしかた

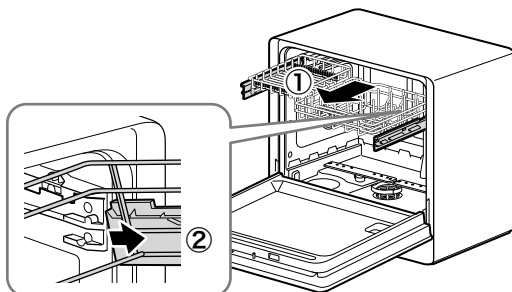
ノズル

ノズルは月に1回程度お手入れしてください。残さいなどが詰まると、洗浄効果が落ちる原因になります。

1 洗浄かごを取り出す

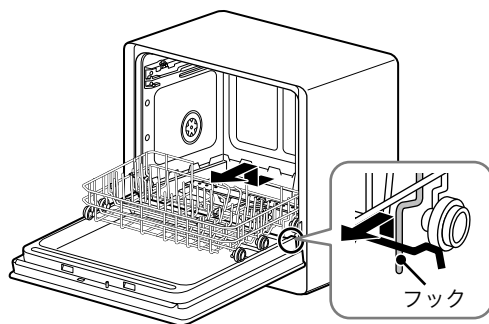
▶ 上かごを取り出す

前に引き出してから前側を少し上に持ち上げ、上かごを取り出します。



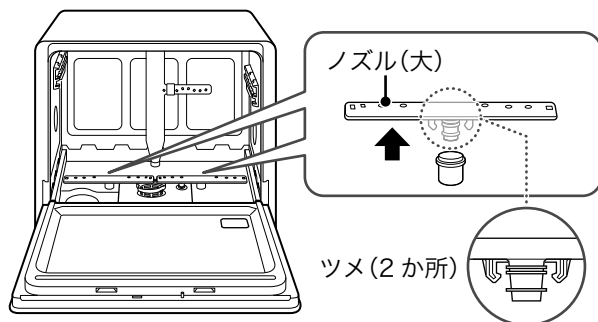
▶ 下かごを取り出す

前に引き出してから少し上に持ち上げ、フックをドアの縁から外しながら取り出します。



2 ノズルを取り外す

庫内底部からノズル(大)のツメ(2か所)を外して取り外します。

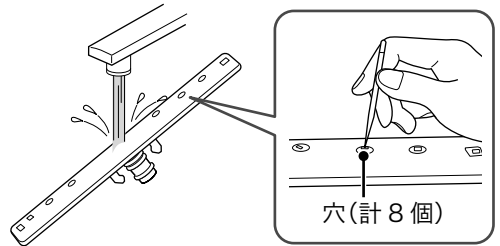


3

ノズルを流水で洗う

流水で残さいなどを洗い流してください。

- つまようじなどを使用し、ノズル(大)の穴の中もお手入れしてください。

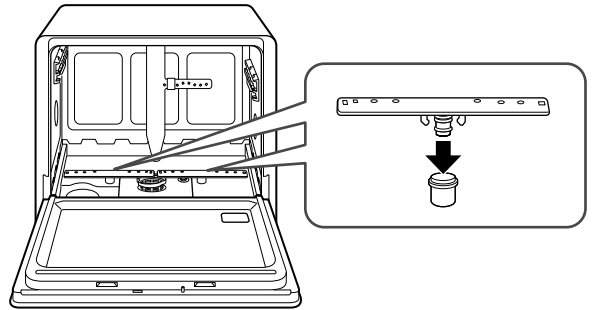


4

ノズルを取り付ける

庫内底部にノズル(大)をまっすぐ押し込んで取り付けます。

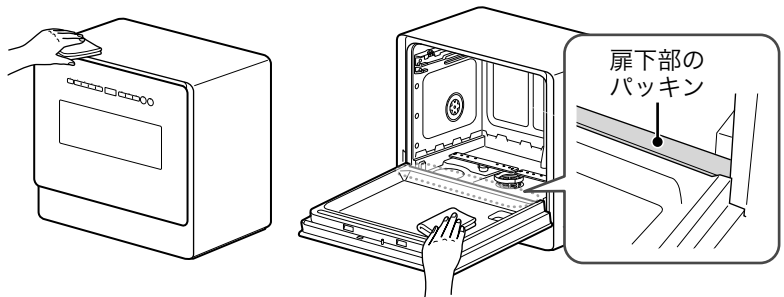
- ノズル(大)には左右の区別はありません。



本体

本体は定期的にお手入れしてください。

- ドア・パッキン・本体外側は、よく絞った布で拭いてから柔らかい布でから拭きしてください。
- ノズルの噴射水が直接当たらない庫内、および扉下部のパッキン付近(右図参照)は、かごを取り出してからよく絞った柔らかい布で拭いてください。
- 本体や接続ホース下部は、油汚れを防ぐため、よく絞った柔らかい布で拭いてください。



ご注意

- ドアパッキンが汚れた場合は、スポンジまたは水にぬらした清潔な布ですぐにお手入れしてください。
- お手入れの際は柔らかい布を使用し、目の粗いスポンジやクレンザーなどは使用しないでください。
本体やドアパッキンの傷の原因になります。
- 一週間以上使用しないときは、よく絞った布でドアパッキンと庫内の汚れを取り除き、柔らかい布でから拭きしてください。
水滴や汚れが付着していると、黒カビが発生する原因になります。
- 本体外側は、漂白剤・洗剤・シンナー・ベンジン・クレンザー・ワックス・消毒液などを使用しないでください。
傷・変形の原因になります。

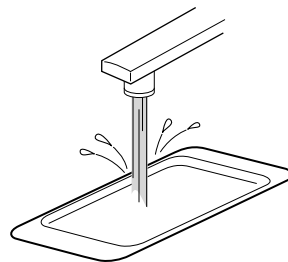
| お手入れのしかた

UV 除菌コース専用トレイ

台所用中性洗剤をつけたスポンジで水洗いし、よく乾燥させます。

ご注意

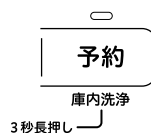
- 食器洗い乾燥機では洗えません。




▶ 庫内洗浄コースを使う

庫内をきれいにしたいときに使います。食器は入れないでください。

庫内洗浄コースはUVモードを設定できません。



- 1 本体の電源を入れ、給水の準備をする
→ 「給水の準備をする」 **14 ページ**
- 2 予約 ボタンを長押し(約3秒)する
運転時間と庫内洗浄アイコン(☰)が表示されます。
- 3 食器洗い機専用洗剤を7g入れ、 (スタート/一時停止) ボタンを押して洗浄を開始する
→ 「食器を洗う/乾燥させる」 **16 ページ**

据え付け

本製品は、以下の説明に従って正しく設置してください。

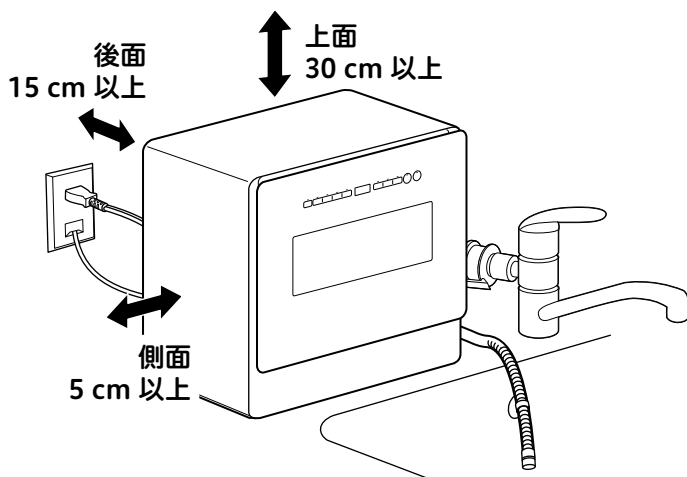
本書に記載の通りに設置・据え付け・試運転・点検を行わなかった場合、事故や損害が生じてても当社は一切の責任を負いません。

おしらせ

- 本製品は水を使った検査をして性能を確認し、清掃をして出荷しています。そのため、少量の水が庫内に残っている場合がありますが、異常ではありません。

設置場所

- 本製品はキッチンのワークトップなど、**水平で安定した場所に設置**してください。傾いた場所に設置すると、水もれしたり、正しく動作しないことがあります。
- ドアが正常に開き、問題なく操作できるだけの空間を確保してください。
- 背面の排気口、吸気口はふさがないでください。
- 本体の金属部分が、流し台のステンレス板や家屋の金属部分などと電氣的に接触しないようご注意ください。法令により義務付けられています。(電気設備の技術基準の解釈)



詳しくは、お住いの市町村の条例に従ってください。

警告



ガスコンロなどの熱源から15cm以上離す
火災の原因になります。

注意



禁止

冬場に凍結するおそれがある場所(室温0°C以下)に置かない



周囲にできる限り物が無い所に置く

本体から出る水蒸気によって、結露することがあります。



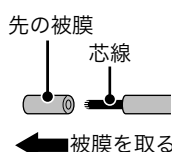
熱源から離し、直射日光の当たらない所に設置する
塗装のはがれや変色の原因になります。

アース・電源の接続

漏電時の感電防止のため、アースを確実に取り付けてください。

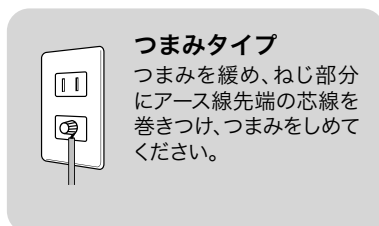
1 アースを取り付ける

▶ コンセントにアース端子がある場合



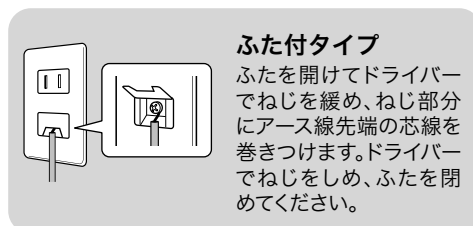
アース線先端の被膜を取ってください。
このとき、芯線を傷つけないように注意してください。

アース端子の例



つまみタイプ

つまみを緩め、ねじ部分にアース線先端の芯線を巻きつけ、つまみをしめてください。



ふた付タイプ

ふたを開けてドライバーでねじを緩め、ねじ部分にアース線先端の芯線を巻きつけます。ドライバーでねじをしめ、ふたを閉めてください。

▶ コンセントにアース端子がない場合

アース接地工事(電気工事有資格者によるD種接地工事)を行ってください。工事はお買い上げの販売店にご相談ください。

次の場合は、感電事故を防止するため電気工事有資格者による、D種接地工事が法律で義務づけられています。

- 湿気の多い場所
水蒸気が充満する場所、土間・コンクリート床、酒・しょうゆなどを醸造または貯蔵する場所
- 水気のある場所(漏電遮断機の取り付けも義務づけられています)
水を取り扱う土間、洗い場など水気のある場所
地下室など常に水滴が漏出したり、結露する場所

2 電源プラグをコンセント(AC100V、15A以上)にしっかりと差し込む

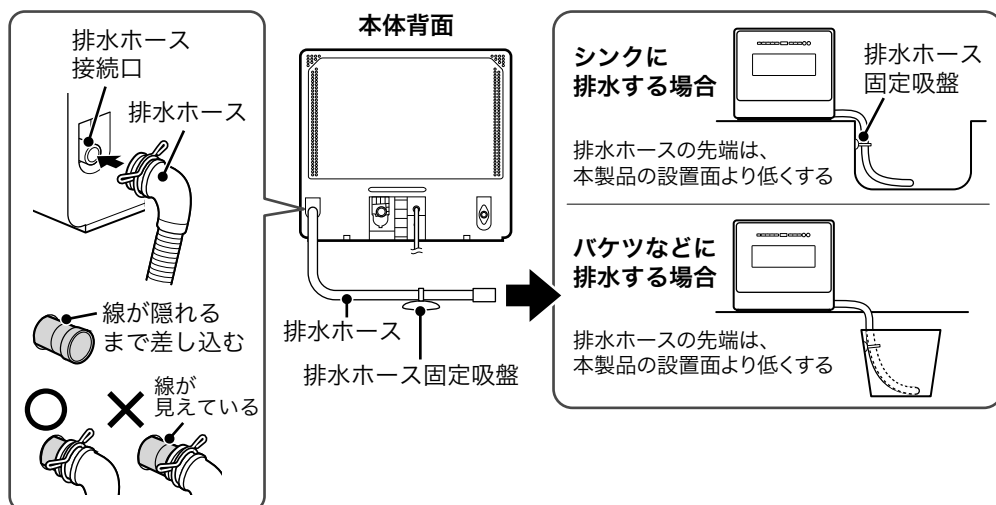
給排水の接続

ご注意

- 本製品は給湯機に接続できません。
- 分岐水栓を使用する場合、水道の水圧が0.02MPa～0.80MPaの範囲であることを確認してください。
範囲外の水道で使用すると、故障の原因になります。
水圧の確認は水道工事店またはお買い上げの販売店にご相談ください。

1 排水ホースを本体に接続する

排水ホースを本体背面の排水ホース接続口に奥までしっかり差し込み、クリップで固定します。



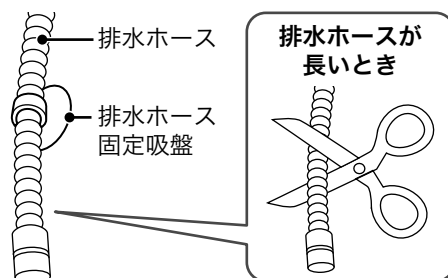
2 排水ホースを固定する

排水ホースを排水ホース固定吸盤で、排水場所に固定します。

- 排水ホースの先端は、本製品の設置面より低くしてください。
- 排水ホースが長すぎる場合は、はさみなどで余分な部分を切り取ってください。

ご注意

- 排水ホースは折れ曲がらないようにしてください。折れ曲がっていると排水ができません。



3

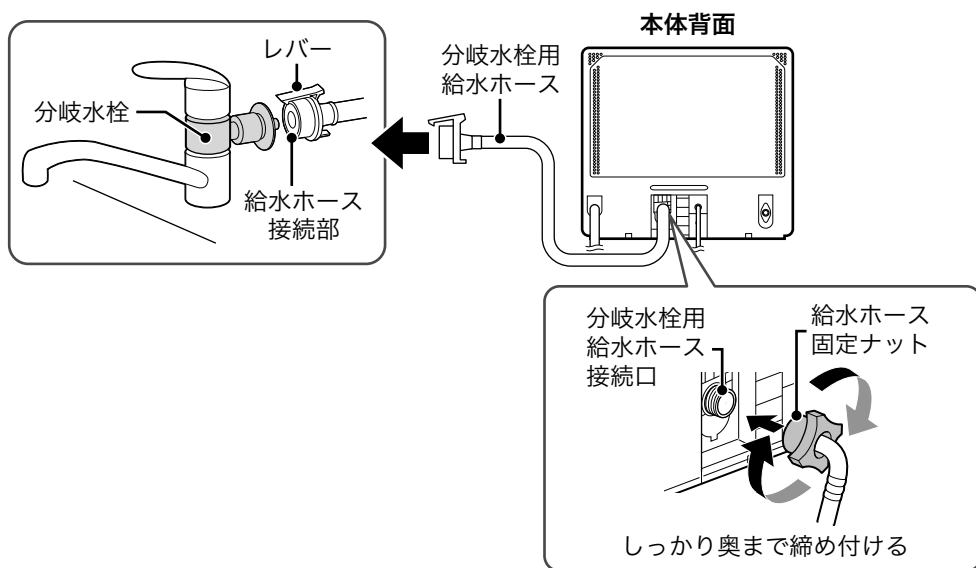
給水ホースを接続する

▶ 分岐水栓から給水する場合

分岐水栓の取り付けかたに関しては、販売店または施工業者へお問い合わせください。分岐水栓用給水ホースを分岐水栓用給水ホース接続口に差し込み、給水ホース固定ナットをしっかり締め付けます。

給水ホース接続部のレバーを押して、「カチッ」と音がするまで分岐水栓に押し込んで接続します。

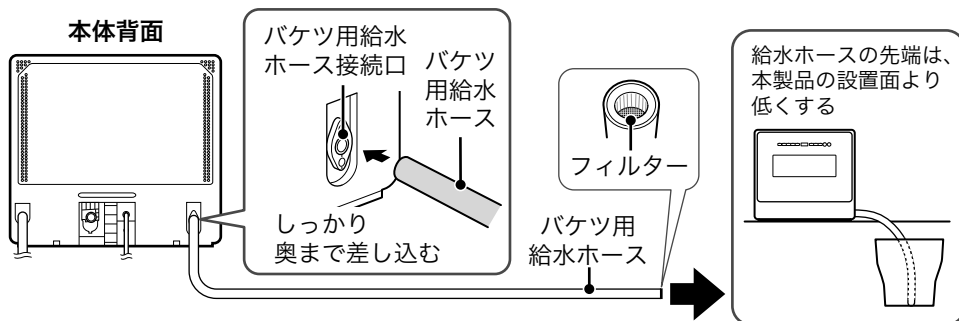
- 接続後は分岐水栓を開き、接続部などに水漏れがないことを確認してください。給水ホース接続口のふたを取り外すときは、ふたをなくさないように保管してください。



▶ バケツで給水する場合

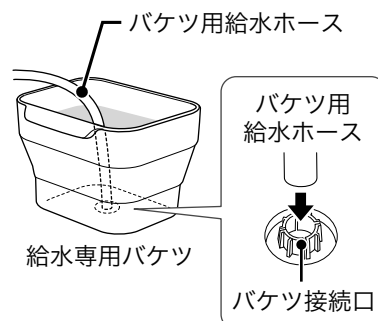
① 本体のバケツ用給水ホース接続口にバケツ用給水ホースを取り付ける

バケツ用給水ホースを使用し、フィルターがついていない方の接続口を本体側に接続してください。



- ② バケツに約10リットルの水を入れる
給水専用バケツを使用してください。

- ③ バケツ用給水ホースの先端を
給水専用バケツに固定する
底面のバケツ接続口にバケツ用給水ホースを
差し込んで固定してください。



ご注意

- 水道水を使用してください。お湯や水道水以外の液体は使わないでください。故障の原因になります。
- バケツ給水用の給水ホースは付属のバケツ用給水ホースを使用してください。市販のホースは使用できません。
- 給水時と排水時で同じバケツを使用しないでください。

4

試運転をする

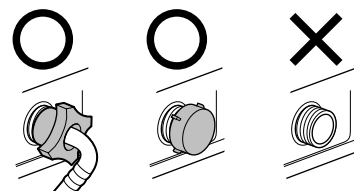
本製品は水を使った検査をして性能を確認し、清掃をして出荷しています。そのため、少量の水が庫内に残り、においがすることがありますので、使用する前に必ず試運転を行ってください。

スピーディーコースで運転してください。
その際に、給水・排水ホースの接続部などに水漏れがないか確認してください。

- 運転のしかた → 「給水の準備をする」 **14ページ**
- 「食器を洗う／乾燥させる」 **16ページ**

ご注意

- 本製品を使用しないときは、分岐水栓を閉めてください。
- 分岐水栓用給水ホースは必ず付属の新品を取り付け、古いものは使用しないでください。
使用すると水漏れの原因になります。
- 分岐水栓を使用しない場合、給水ホース接続口のふたを外さないでください。
バケツから給水したとき、水漏れの原因になります。
- 給水ホースや排水ホースを外したときは、必ず接続口のふたを取り付けてください。



| 仕上がりが気になるとき

Q1 食器の底のくぼみに水滴が残る、乾きが悪い

- かごに接触している部分や食器が重なっている部分、くぼみなどに水滴が残ることがあります。少し傾けてセットすることで残る水の量は少なくなります。
- 食器が重なっていませんか。食器を離して入れてください。
- スピーディーコースは送風を行わないため、完全に乾かない場合があります。追加で温風乾燥のみコースを行うことをおすすめします。

Q2 汚れが落ちない

- 食器洗い機専用の洗剤を使用していますか。必ず食器洗い機専用洗剤を使用してください。
- 食器洗い機専用洗剤は、汚れに応じて適切な量を入れましたか。洗剤の量が足りないと汚れが落ちない場合があります。
- 食器がかごの底からはみ出して、ノズルの回転を止めていませんか。食器がかごからはみ出さないように入れてください。
- 食器を入れすぎていたり、重ねて入っていたり、食器を入れる向きが間違っていないか。すべての食器にノズルの噴射水が届くように正しい向きで入れてください。
- 残さいフィルターやノズルが目詰まりしていませんか。また、きちんと取り付けられていますか。残さいフィルターとノズルをお手入れしてください。
- 焦げ付きや油汚れなどがある場合は、事前にこすり落としてから入れるか、手洗いしてください。
- スピーディーコースは洗浄時間が短いため、汚れをしっかりと落としたい場合は念入りコースで洗浄してください。

Q3 食器が白くくもる、白い跡が残る

- 表面に小さな傷のついたガラス食器を高温で洗うと、まれに白くくもる場合があります。
- クリスタル製の食器は白くくもるため、入れないでください。
- ひどい油污れは、汚れが残る場合があります。食器洗い機専用洗剤を多めに入れて、運転してください。
- 白い跡は水に含まれているミネラル分によるものです。ときどきクエン酸をつけて、手洗いしてください。

Q4 黄ばむ・黒ずむ

水に含まれている鉄分や、茶しぶなどによるものです。ときどき食器を手洗いしてください。

Q5 粉末洗剤が残る

- 粉末洗剤が固まっていますか。かたまりがある場合は砕いてから使用してください。
- 洗剤が古くなっていませんか。新しい食器洗い機専用洗剤を使用してください。
- 洗剤を入れすぎていませんか。食器の量や汚れ具合に応じた量を入れてください。
- ノズルが詰まっていたり、ノズルの回転が止まっていますか。

Q6 プラスチック製の食器が変形してしまう

プラスチックは熱の影響で変形するおそれがあります。耐熱温度65℃未満のプラスチック製の食器は、洗わないでください。耐熱温度65℃～90℃未満のプラスチック食器はソフトコースで洗ってください。

Q7 プラスチック食器やシリコンカップなどの乾きが悪い

プラスチック製品は水をはじいて大きな水滴になるため、乾きにくくなります。プラスチック食器は、水滴が残りにくいよう傾けてセットしてください。

故障かなと思ったら

— 修理を依頼する前にご確認ください —

Q1 電源が入らない

電源プラグが抜けていませんか。
電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

Q2 運転が開始されない

- ドアがきちんと閉まっていますか。
ドアをきちんと閉めてください。
- 給水アイコンが点滅していませんか。
分岐水栓を接続している場合は分岐水栓を開いてください。バケツから給水する場合は、バケツに水があるか、ホースから給水できる状態になっているか確認してください。

Q3 ドアが閉まらない

- 食器がドアに当たっていませんか。
食器がドアに当たらないようにして、確実にドアを閉めてください。
- お買い上げ時は密封性を高めるために、ドアパッキンが固くなっています。使用していくと次第にパッキンがなじんできます。

Q4 給水アイコン(㊦)が点滅する ／給水アイコンが点灯し、E1 が表示される

- 水が不足すると給水アイコンが点滅します。次のことを確認してください。
- 給水ホースが折れ曲がっていませんか。給水ホースを確認し、折れ曲がっている場合は直してください。
- 分岐水栓が閉まっていますか。分岐水栓を開いてください。バケツから給水する場合は、バケツに水があるか、ホースから給水できる状態になっているか確認してください。
- 給水ホースが詰まっていますか。電源プラグを抜いて分岐水栓を閉め、給水ホースをお手入れしてください。
- 断水していませんか。水道が復旧したら、他の水栓を開けて濁った水が流れないことを確認した後、本製品が接続されている分岐水栓を開けて運転を再開してください。
- 給水ホースが凍結していませんか。25℃以上の環境にしばらく放置してください。

- 上記を確認してもE1が表示される場合、運転を再開できなかった場合は故障の可能性があります。電源プラグを抜いて使用を中止し、「修理をご依頼いただく前に」**33ページ**をご確認ください。

Q5 窓がくもる

運転終了後、庫内の余熱や水滴により窓がくもることがあります。

Q6 使用するにつれ、庫内や窓が白くくもる

水に含まれているミネラル分によって、白くくもることがあります。庫内のお手入れは「庫内洗浄コースを使う」**24ページ**をご確認ください。また、窓はよく絞った柔らかい布で拭いてください。

Q7 ぶつかるような音やカタカタ音がする

- 食器がノズルに当たっていませんか。
食器が洗浄かごからはみ出すなどして、ノズルに当たらないようご注意ください。
- 軽い食器は運転中に移動することがあります。
軽い食器を入れるときは、できる限り安定するように置いてください。

Q8 泡が立ちすぎる

台所用洗剤を使用していませんか。または事前に手洗いしたときの洗剤が残っていませんか。
台所用洗剤は使用できません。
少量でも付着していると故障の原因になりますので、必ず食器洗い機専用洗剤をご使用ください。
泡が消えない場合は、《おまかせ》ボタンと《ソフト》ボタンを同時に長押し(約3秒)し、強制排水を行ってください。

Q9 給水が止まらない

給水弁が故障している可能性があります。分岐水栓を閉めて電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または施工業者にお問い合わせください。

| 故障かなと思ったら

Q10 洗浄やすすぎ中にノズルの噴射が止まる。

ノズルの穴が詰まっていませんか。
ノズルのお手入れをしてください。

Q11 使用後、本体内部に水滴がついている

結露によるものです。食器が乾いていてもドアの内側や庫内などに水滴が残りますが、故障ではありません。

Q12 残さいフィルターの下に水が溜まっている

正常な状態です。故障ではありません。

Q13 おまかせコースの運転時間が長い

食器の汚れ、食器の量が少なくても、カレーなど色付きの汚れが多い場合、設置状態、室温、水温、水道水圧の変化によっては運転時間が長くなる場合があります。

毎回、運転時間が長くなる場合は、運転開始後におまかせランプが点滅していないか確認してください。点滅している場合はおまかせセンサー（にごり度センサー）が故障している可能性があります。電源プラグを抜いて使用を中止し、販売店またはシロカサポートセンターにご連絡ください。

Q14 時間表示が急に進む／変わらない

運転中に残り時間を自動調節しています。故障ではありません。

Q15 ブレーカーが落ちた

原因を取り除いてからブレーカーを復帰させてください。電源が入ると運転を再開します。

Q16 停電した

停電が回復したら、運転を再開します。

Q17 断水した(分岐水栓と接続している場合)

《入/切》(電源)ボタンを押して電源を切り、分岐水栓を閉めます。水道が復旧したら、他の水栓を開けて濁った水が流れないことを確認した後、本製品が接続されている分岐水栓を開けて運転を再開してください。

Q18 凍結した

25℃以上の環境にしばらく放置してください。その後、運転を再開できなかった場合は、故障の可能性があります。電源プラグを抜いて使用を中止し、「修理をご依頼いただく前に」**33ページ**をご確認ください。

Q19 ディスプレイにE2、Edが表示される

故障の可能性があります。《入/切》(電源)ボタンを押して電源を切り、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止し、「修理をご依頼いただく前に」**33ページ**をご確認ください。

Q20 ディスプレイにE4が表示される

水漏れしている可能性があります。《入/切》(電源)ボタンを押して電源を切り、次のことを確認してください。

- 排水ホースが折れ曲がっていませんか。
排水ホースを折れ曲がらないようにしたあと、「E4表示からの復帰方法」**33ページ**をお試しください。
- 残さいフィルターまたは排水ホースが詰まっていませんか。
残さいフィルターまたは排水ホースの詰まりをなおしたあと、「E4表示からの復帰方法」**33ページ**をお試しください。
- 台所用洗剤を使用して泡が大量に発生していませんか。
「E4表示からの復帰方法」**33ページ**をお試しください。

▶ E4表示からの復帰方法

本体を斜めにするなどして底面の水が排水されれば、症状が解消されることがあります。
下記の、本体底面の水を抜く手順をお試してください。
ご注意：本体の隙間から水が漏れるため、流し台などで作業してください。

本体底面の水の抜きかた

1. 電源プラグを抜く
2. 本体の前面の下にタオルなどを敷く
3. 本体を前面に傾けて、本体底面にたまった水を抜く

その後、電源を入れて症状が解消されるか確認してください。1日程度時間をおいても運転を再開できなかった場合は故障の可能性があります。電源プラグを抜いて使用を中止し、「修理をご依頼いただく前に」**33ページ**をご確認ください。

| 修理をご依頼いただく前に

復帰操作や時間をおくと症状が解消されることがあるため、修理をご依頼いただく前に下記に従って症状の確認をお願いします。

1. 電源が切れていることを確認して、電源プラグを抜く。
2. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。
3. ディスプレイにE1、E2、E4、Edが表示されているか確認する。
 - ・表示されている → **5**へ進む
 - ・表示されていない → **4**へ進む
4. スピーディーコースで運転できるか確認する
 - ・運転できる → 正常に運転終了した場合はそのままお使いください。
 - ・運転できない → **5**へ進む
5. 次の手順で庫内の水を排水する。
 - ① 《おまかせ》ボタンと《ソフト》ボタンを同時に押す
 - ② 「:-」が表示され、庫内の水が排水される(不具合の内容によっては排水できないことがあります)
6. 電源を入れ直し、ディスプレイにE1、E2、E4、Edが表示される場合、または運転できない場合、販売店またはシロカサポートセンターにご連絡ください。

お願い

ディスプレイに**E4**が表示される場合は、「E4表示からの復帰方法」**33ページ**を参照し、必ず底面の水を抜いてから左記を確認してください。

仕様

品名(型番)	食器洗い乾燥機(SS-MH351)
電源	交流 100 V、50/60 Hz
消費電力	923 W / 951 W
質量(約)	21kg (本体、上かご、下かご、小物トレイ、小物入れ、UV除菌コース専用トレイ)
外形寸法(約)	幅 55 cm × 奥行 35 cm × 高さ 50 cm
使用水量(約)	8.5 L (分岐水栓使用時) / 9 L (バケツ給水時)
水道水圧	0.02 MPa ~ 0.80 MPa
洗浄方式	回転ノズル噴射式、固定ノズル噴射式
すすぎ方式	ためすすぎ
乾燥方式	ヒーターとファンによる強制排気
標準収納容量	36 点(大皿5点、中皿5点、小皿10点、茶わん5点、汁わん5点、コップ6点、小物類(はし、スプーン等))
専用洗剤の標準使用量(約)	7 g
付属品	上かご、下かご、小物トレイ、小物入れ、分岐水栓用給水ホース、給水専用バケツ、バケツ用給水ホース、排水ホース、UV除菌コース専用トレイ
原産国	中国
UVライトの寿命(約)	600時間 充分な性能を保つため、定期的な点検をおすすめします。

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店またはインターネットでご注文いただけます。詳しくは以下のホームページをご確認ください。

(「※」がついている部品は消耗品のため、保証期間内でも有料とさせていただきます。)

<https://siroca.jp/>

- プラスチック部品はご使用にともない、傷んだり摩耗したりします。

部品名	部品コード	部品名	部品コード
分岐水栓用給水ホース	SS-M100-KH	バケツ用給水ホース	SS-M300-BH
排水ホース(吸盤付き)	SS-M300-HH	残さいフィルター※ (Ag+抗菌アタッチメント付)	SS-M300-ZF
小物トレイ	SS-M300-KT	メッシュトレイ (突起付き)	SS-M300-MT
小物入れ	SS-M300-KI	上かご	SS-M300-UK
UV除菌コース専用トレイ	SS-M300-UT	下かご	SS-M300-SK
給水専用バケツ	SS-M300-BK		

保証とアフターサービス

— 必ずお読みください —

▶ 保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。

保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、なお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間です。消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した製品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造終了後6年です。その製品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

長年ご使用の製品の点検を!

- 長年ご使用の製品では、電気部品の経年劣化による発煙・発火のおそれがあります。
- ご使用前に必ずご確認ください、次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにご連絡ください。点検・修理費用などはシロカサポートセンターにご相談ください。
 - 水漏れがする
 - 焦げ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がする
 - 本体に触るとビリビリ電気を感じる
 - その他の異常や故障がある
- 定期的に「安全上のご注意」を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

シロカの最新情報はこちらでチェック!



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/

保証書

持込修理

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、または
シロカサポートセンターまでお問い合わせください。

品名：食器洗い乾燥機
型番：SS-MH351
保証期間：お買い上げ日より本体1年間
お買い上げ日： 年 月 日
製造番号：
販売店：店名・住所・電話

お客様：

ふりがな

お名前

ご住所

お電話

お願い：未記入の保証書の場合、お買い上げ日を証明するレシート、送り状
などを必ず添付してください。証明がない場合、保証対象にならない
場合があります。

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容
に基づき弊社が無料修理いたしますので、製品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセン
ターまでご依頼ください。
ご転居、ご贈答などで、お買い上げいただいた販売店に修理が依頼できない場合は、シロカサポートセンターまでご連絡ください。
保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
 - 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用など）に使用された場合の故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。お買い上げ日を証明する
レシート、送り状などの証明書がない場合。通信販売、インターネットでお買い上げ時、ご注文確認メールなどご購入履歴を確認
できるものの提示がない場合。
 - 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。（かすり傷、へこみなどを含みます）
 - 腐食による故障、及び損傷。
 - 消耗部品の交換。
 - (11) お買い上げの製品が、有償無償を問わず譲渡されたもの（中古品）であった場合。
- 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、
処分させていただきます。
- 本書に基づく無料修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のお買い上げ時の保証期間が適用されます。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限す
るものではありません。

シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F

19090023

修理・使いかた・お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記までお問い合わせください。

ホームページ（お客様サポート）

よくあるご質問やメールでのお問い合わせは
こちらをご覧ください。

<https://siroca.co.jp/support/>



部品・消耗品のご購入については
こちらをご覧ください。

<https://siroca.jp>

電話でのお問い合わせ：シロカサポートセンター

ナビダイヤル  **0570-001-469**

上記番号がご利用いただけない場合 **03-3234-8800**

受付時間：平日 **10:00～17:00**

土日祝 **10:00～12:00 / 13:00～17:00**

（弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください）

時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。